

# アルゴリズムとデータ構造

グループワーク

概要

# グループワークのねらい

- 計算機のリソースを意識した問題解決に取り組む.
- グループ内のメンバーと様々なアイデアを交換しながら問題に取り組む.
- 手法の設計の意図, その実現方法を的確に説明できる力を養う.

# スケジュール概要

- ガイダンス，議論 2025/12/12 15:05 – 16:45
  - 開発内容の説明，メンバー顔合わせ，議論
  - 対面により実施（63-202教室）
- 開発・発表準備期間 2025/12/12～2026/1/15
- 開発議論，発表準備
  - 2025/12/19 4限（任意参加），2026/1/9 4限
  - 対面により実施（63-202教室）
- 発表会 2026/1/16 4～5限（15:05 – 18:40）
  - 対面により実施（63-202教室）
- 報告書等の提出〆切 2026/1/23

※ 2026年1月16日5限は，別の授業と重なっている人の参加は免除します。

# 評価方法

- グループ全体の評価
  - 成果物の性能
  - 成果発表の質
- 個別の評価
  - グループワーク中の各人の貢献度

# 評価方法

- グループ全体の評価
  - 成果物の性能
    - 教員が計測 → 成果発表会の日に公開
  - 成果発表の質
    - 皆さんが互いに評価，教員の評価
- 個別の評価
  - グループワーク中の各人の貢献度
    - 皆さんが互いに評価
    - 報告書

# 評価方法

## ● グループ全体の評価

### ○ 成果物の性能

- 教員が計測 → 成果物の性能

### ○ 成果発表の質

- 皆さんが互いに評価, 教員の評価

#### 評価のポイント:

- 発表はわかりやすかったか？
- 提案手法は妥当だったか？
- 提案手法を正しく実装できていたか？
- 結果の分析は妥当か？

## ● 個別の評価

- 各人は, Moodleの“発表評価”から自分が所属していないグループの中で特に良かった発表に投票する. 自グループへの投票は無効.
- また, なぜ投票したのかコメントも書く.
- コメントは集計後, 皆さんにシェアします.

# 評価方法

- グループ全体の評価
  - 成果
    - 教
    - 成果
    - 皆
  - 各人は、Moodleの“作業評価”からメンバーの貢献度を評価します。
  - 貢献度が高いと感じた上位3人を順位をつけて選んでください。（6人グループの場合は4人）
  - 自分を選んでOKです。
- 個別の評価
  - グループワーク中の各人の貢献度
    - 皆さんが互いに評価
    - 報告書

# キックオフメモの提出（本日提出推奨）

- 以下の内容を含む文書を作成して、グループの代表者がMoodle「キックオフメモ」に提出。
  - グループ番号
  - 代表者（提出係）
  - メンバー
  - 出欠報告
  - 議事録・作業計画
    - 例）本日の議論の内容，スケジュール表，作業項目の列挙等．
- PDF形式で作成．
- 分量：A4サイズで1～2枚程度でOK（必要に応じて増量して構わない．）



# 1月9日報告

- 以下の内容を含む文書を作成して、グループの代表者がMoodle に提出。
  - グループ番号
  - 代表者（提出係）
  - メンバー
  - 出欠報告
  - 進捗報告
  - 議事録・今後の作業計画
- PDF形式で作成.
- 分量：A4サイズで1～2枚程度でOK（必要に応じて増量して構わない。）

# 中間計測

- 参加の是非は自由.
- 2025/12/25, 23:59までに途中結果を提出したグループに関しては、本番と同様の方法で計測を行って、結果を公表します.
- 提出方法：本番の時と同じフォーマットでMoodleの「中間計測用提出」からグループの代表者が提出.

# 成果発表

- 成果物に関する発表をする.
  - どのような方針で取り組んだのか？
  - 方針を実現するためにどのような方法論を用いたのか？その方法論を用いた根拠は？
  - 実際にそれはうまくいったのか？
  - うまくいった（若しくはうまくいかなかった）要因の分析など
- 登壇＆ポスターにて発表. グループメンバーの全員に発表の機会がある. （120～150分程度を予定. ）  
※ 対面授業に関する大学の方針に変更があった場合はオンライン
- 発表資料は2025/1/14までにMoodleの「成果発表会用資料提出」にグループの代表者が提出.
- 成果発表の詳細は後日案内します.

# 報告書の提出

- 以下の内容を含む文書（pdf）を作成し，2025/1/23までに各自がMoodleの「報告書提出」に提出。
  - 提案手法の説明
  - 提案手法の評価
  - 自分の貢献（どんな役割を果たしたかを具体的に説明。）
  - 発表会での質疑応答
    - 自分のチームの発表のみならず，他のチームの発表に参加した際の質疑応答についてもまとめる。
    - どんな質問をされて，どのように答えたか．どんな質問をして，どんな回答を得たか？それについてどう考察したか？
  - 考察
    - 作業を進める上で難しかったこと，またそれをどうやって解決したか。
    - 提案手法について，どのような改善が望めるか。 など。

# 提出〆切 & 作業スケジュール

- 2025/12/14, 23:59
  - 提出物： キックオフメモ
  - 提出先： Moodle 「キックオフメモ」
- 2025/12/25, 23:59 (オプション)
  - 提出物： 中間計測用のプログラム群
  - 提出先： Moodle 「中間計測用提出」
- 2026/1/9, 23:59
  - 提出物： 1月9日報告
  - 提出先： Moodle 「1月9日報告」
- 2026/1/13, 23:59
  - 提出物： 最終評価用のプログラム群
  - 提出先： Moodle 「成果物提出」
- 2026/1/13, 23:59
  - 提出物： 発表資料
  - 提出先： Moodle 「成果発表会用資料提出」